

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15101008	蛋白質生合成系の有機化学的拡張と合成生命体の創成	宍戸 昌彦 (岡山大学・大学院自然科学研究科・教授)	A
<p>本研究では、研究推進者が長年に渡って独自に開発して来た生体が持つタンパク質合成系の改変による非天然アミノ酸導入法をより一般化して、細胞内でも使用可能な範囲まで拡張することによって合成生命体とも呼べる細胞ミミックの構築を目的としたものである。</p> <p>基盤研究 (S) では、この究極の目的達成のために種々の新しいツール開発に成功し、その点において着実に研究が進展したと評価できる。ただし最終的な非天然蛋白合成組織体での非天然タンパク質合成収量はまだ満足できる量ではなく、更なる研究の発展が望まれる。</p> <p>得られた成果は、JACSや Nature Method など国際的に評価の高い一流紙に発表されており、その学術的な質は国際的にも高く評価できる。</p>			